

顕微鏡歯科治療におけるビューシステムに寄与するミラー使用方法とその実践

Method of Using Dental Mirror related to View System in Micro Dentistry and Practice

磯崎 裕騎

Hiroki Isozaki

PLoS (Performance Logic of Society) 副会長

医療法人愛歯会いそざき歯科 理事長

日本におけるマイクロスコープの歴史も20年を超え累計販売台数も積み上がり、普及率も5%近いと言われるまでになりました。一般にも新聞や週刊誌にマイクロスコープ特集が組まれ、患者啓蒙にも役立つものとなっています。しかしながらマイクロスコープ治療の恩恵を受けた患者数についてはその普及率ほどに増えていないように思われます。その原因としてマイクロスコープの取り扱いが特殊なことと、熟練が必要なために設置台数に比較して現実には十分に稼働していないマイクロスコープが少なくないせいだと言われています。

今回、筆者らはマイクロスコープの取り扱いのハードルとして一番に挙げられるデンタルミラーの使用方法について解説すると共に、ミラートレーニングに効果を上げている模型を用いて実際にシステマティックなミラー使用方法を体験して頂きたいと思います。模型は30台用意しております。

ので多くの先生方にその有用性を理解して頂けることと思います。

略歴

- 1987年 九州歯科大学をご卒業
- 1994年 大阪市にて『新大阪愛歯科イソザキ診療所』をご開設
- 2000年 高松市にて『いそざき歯科』を開設

GEPEC 会員

日本顕微鏡歯科学会 認定医

日本歯科人間工学会会員

pd プロモーショングループ 理事

同 コースインストラクター

PLoS (パフォーマンスロジックソサエティ) 副会長